

自治体業務円滑化に向けた情報発信・共有の課題

環境省リサイクル推進室

環境省では、自動車リサイクル制度の安定的な運用に向けて、関連事業者に対して指導権限をもつ都道府県・保健所設置都市における自動車リサイクル制度の運用に関する調査・検討を実施、実態把握を行っている。平成27年度の調査・検討において、アンケート調査を実施するとともに、自治体職員からなる自治体懇談会を開催し、制度運用における課題とその解決に向けた方向性について検討を行った。検討の結果得られた情報発信・共有に関する主な課題については以下のとおりである。

1. JARS に関する情報発信・共有の課題

① ユーザーの使いやすさの向上

JARS の平均的な利用頻度や活用法から、利用頻度の向上の余地があった。また、JARS の活用の目的として一部の機能に集中していた。ユーザーがより使う部分を中心に Q&A を充実させるとともに、利用頻度を向上させるユーザーフレンドリーなシステムの設計が重要である。

② ユーザーの求める内容の充実

立入検査に入る前に JARS を確認することが多く、これに関連して「関連事業者側の画面を確認できるようにしてほしい」等のユーザーの実際の運用に即した機能の充実が重要である。

③ ベストプラクティスの効果的な発信

JARS に対する要望として、操作・活用方法についての研修会を開催してほしいという意見が多かった。システムの基本的な使い方に加えて、例えば、立入現場でのモバイル機器を活用した効果的な立入検査等のベストプラクティスの共有を行っていけば、JARS を活用するインセンティブの増進が可能となる。

④ ユーザーのニーズをフィードバックするしくみ

自治体に対するアンケートや委員へのヒアリングから、システムに対する要望がある程度明瞭になった。システムのユーザーである自治体等が求める要望を継続的にすくい取り、JARS に意見を反映させていく仕組み作りの構築が重要である。

2. 関連事業者等に関する情報発信・共有の課題

① 自治体間との情報共有

効率的かつ効果的な制度の運用のためには指導方法、業者の事例、取り組み等について自治体間の情報を共有することが望ましい。また、例えば自再協との連携等により、現場での知見・ノウハウを蓄積する等の関係者連携が重要。

② 外国人事業者への対応

外国人従業員の作業レベルや危機意識の低さから、周辺住民への影響を伴う火災等の事故が発生している。また、自動車リサイクル法の理解度も低いといった課題がある。このため、業界団体において外国人事業者も含めた情報共有・意見交換を進めることが重要ではないか。

③ 無許可解体の防止への対応

無許可解体等の防止のため、オートオークションにおいて使用済自動車と思われるものについては取り扱わないように、関係団体間での情報共有を進めるべきではないか。

3. ユーザーへの情報発信・共有の課題

① 自動車リサイクル制度のPR

アンケートの結果から、自治体からユーザーへの啓発を行っている事例は少ない。引き続き、ユーザーへの啓発が必要。また、自治体だけでなく、販売店、整備業者、中古車販売業者等からも、ユーザーに自動車リサイクル制度を説明してもらうことが必要である。

② 優良事業者の差別化

適正かつ質の高いリサイクルを行い、コンプライアンスを遵守する事業者が評価されるよう「グリーン業者」のように優良事業者の差別化を進め、ユーザーへ有用な情報を発信・共有すべきではないか。

自治体懇談会におけるアンケート等の結果について

1. 自治体懇談会の実施期間

回数	時期	検討事項・議題等
第1回	平成28年2月5日 (金) 13:30～15:30	・本事業・本懇談会の目的、趣旨の共有 ・事務局において設定した各種論点に関する課題等の整理・都道府県及び政令市へのアンケート調査案の確認
第2回	平成28年3月14日 (月) 13:00～16:00	・都道府県等のアンケート調査結果について ・遅延報告非表示時の手続きの改善等(公益財団法人自動車リサイクル促進センターより紹介) ・関連事業者の指導用ツール等(一般社団法人自動車再資源化協力機構より紹介) ・第一回を踏まえた各論点の課題に対する議論

2. アンケート調査の実施概要

○調査項目

- 1) 自治体における自動車リサイクル法関連業務の執行体制
- 2) 自動車リサイクル法第2条第17項の規定による関連事業者への指導等を行うためのマニュアル・定義・基準等
- 3) 自動車リサイクルシステム(JARS)の活用
- 4) 自動車リサイクル法第2条第17項の規定による関連事業者への対応
- 5) 無許可業者・廃業した関連事業者対策
- 6) 不法投棄、路上放置、不適正保管

○対象自治体: 都道府県及び保健所設置市の計 119 自治体

○回答数: 115 自治体 回答率: 96.6%

○調査期間: 平成27年12月1日～平成28年3月25日

3. アンケート調査票

3. 自動車リサイクルシステム（JARS）の活用

【質問3-①】 ご回答いただいている方の所属部署において、JARSの平均的な利用頻度についてお答えください。 **(一つ選択)**

質問3-①回答 該当するものに「○」印をご入力ください。	
	1. 毎日
	2. 2～3日に1回
	3. 1週間に1回
	4. 1月に1回
	5. ほぼ使っていない

【質問3-②】 JARSをどのように活用されていますか？ **(複数選択可)**

質問3-②回答 該当するものに「○」印をご入力ください。	
	1. 登録・許可のある関連事業者の状況把握
	2. 遅延報告の確認
	3. 立入検査に入る前の確認（引取実績・解体実績・破砕業者への引渡実績、エアバッグ類の取扱状況、過去の指導履歴等）
	4. JARSへの登録内容と立入検査での実態との比較
	5. ハーフカットされた車体の車体番号の確認
	6. 他県の関連事業者情報の確認
	7. JARSに登録していない場合の登録催促
	8. 車台番号を出力し、電子manifestの虚偽報告の有無確認
	9. フロン類年次報告の未報告者の抽出
	10. その他

「10. その他」を選択した方は、その内容を以下にご入力ください。

--

【質問3-③】 JARSについての国、JARSを運営している（公財）自動車リサイクル促進センターへのご意見、ご要望をお聞かせください。 **(最大2つまで選択可)**

質問3-③回答 該当するものに「○」印をご入力ください。	
	1. 操作方法及び活用方法についてのQ&Aを充実してほしい
	2. 関連事業者側の画面を確認できるようにしてほしい
	3. 基本操作・具体的な事例を踏まえた活用方法についての研修会を開催してほしい
	4. 立入現場で確認のためにモバイル機器で使用できるシステムを構築してほしい
	5. 関連事業者へJARSの入力方法等の使用について指導してほしい
	6. 一つの自治体に割り当てるID・パスワードの数を増やしてほしい

上記の選択に関わらず、JARSについての具体的なお意見、ご要望がありましたら、ご入力ください。

--

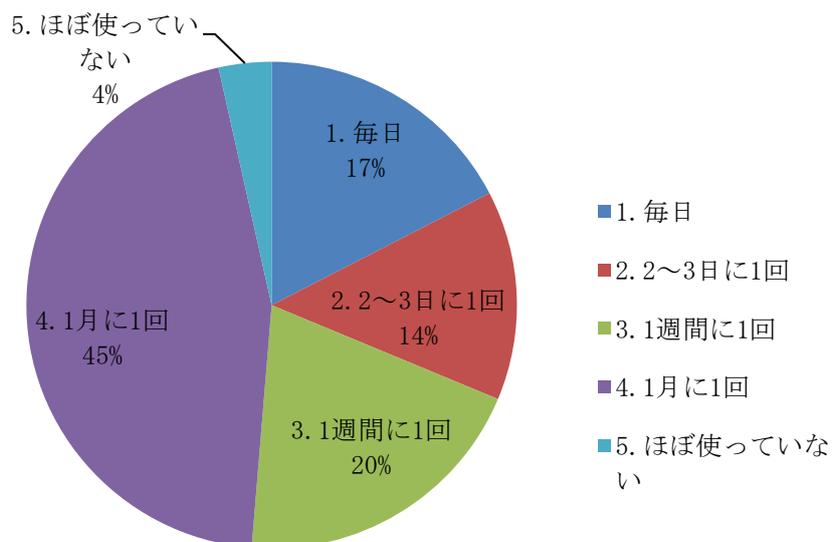
【質問6-④】自動車ユーザーに対して不法投棄・路上放置の防止について啓発活動は行っていますか？ (一つ選択)

質問6-④回答 該当するものに「○」印をご入力ください。	
<input type="checkbox"/>	1. 行っている
<input type="checkbox"/>	2. 廃棄物全般の不法投棄防止に係る啓発活動の一環として行っている
<input type="checkbox"/>	3. 検討中であり、活動案を選定している
<input type="checkbox"/>	4. 検討はしているが、具体的な活動内容まで決まっていない
<input type="checkbox"/>	5. 行っていない

4. アンケート調査結果 (n=115)

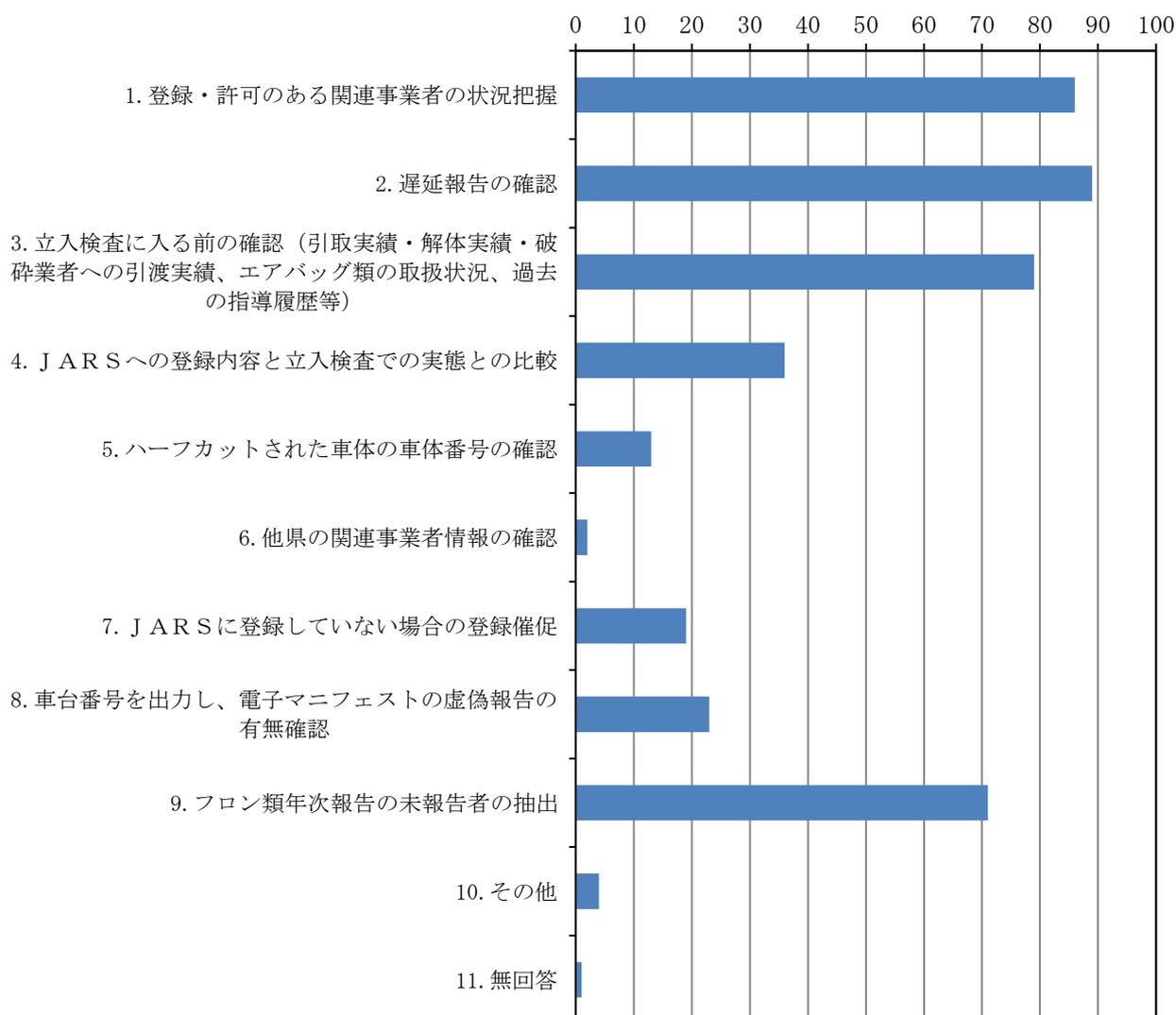
○JARSの平均的な利用頻度 (一つ選択)

1.毎日	20
2.2～3日に1回	16
3.1週間に1回	23
4.1月に1回	52
5.ほぼ使っていない	4



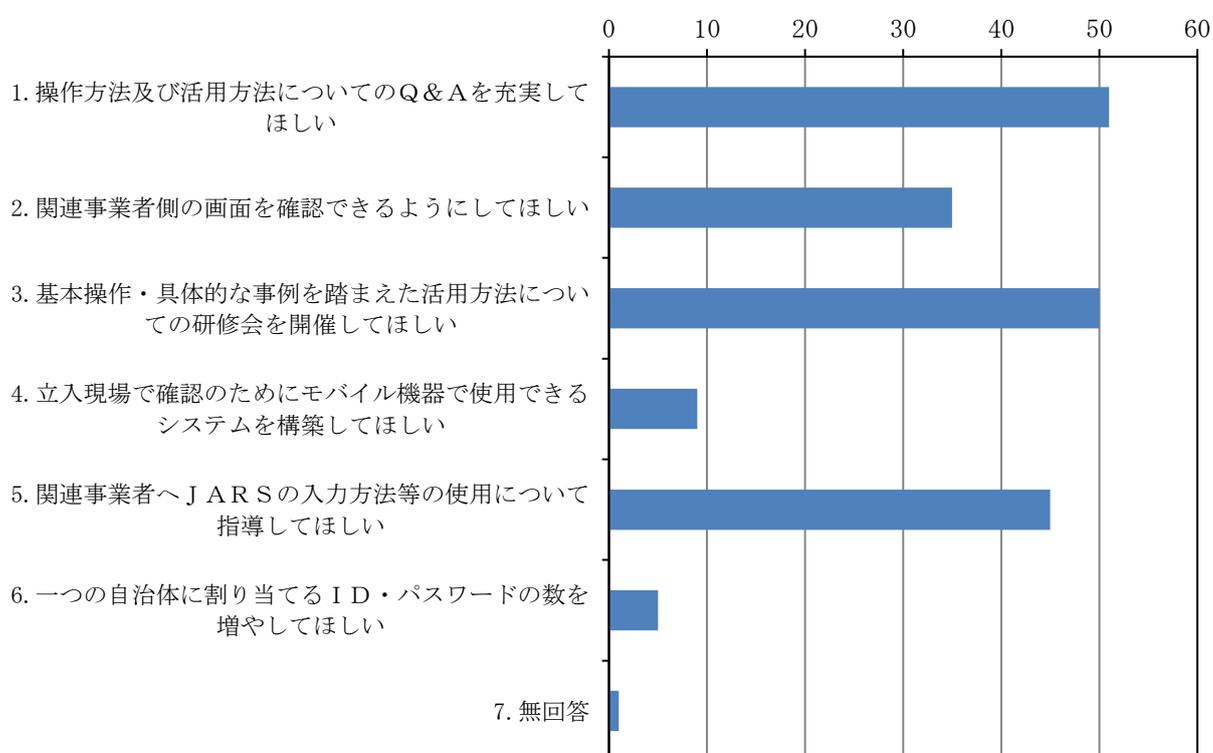
○JARSの活用方法（複数選択可）（n=115）

1.登録・許可のある関連事業者の状況把握	86
2.遅延報告の確認	89
3.立入検査に入る前の確認(引取実績・解体実績・破砕業者への引渡実績、エアバッグ類の取扱状況、過去の指導履歴等)	79
4.JARSへの登録内容と立入検査での実態との比較	36
5.ハーフカットされた車体の車体番号の確認	13
6.他県の関連事業者情報の確認	2
7.JARSに登録していない場合の登録催促	19
8.車台番号を出力し、電子マニフェストの虚偽報告の有無確認	23
9.フロン類年次報告の未報告者の抽出	71
10.その他	4
11.無回答	1



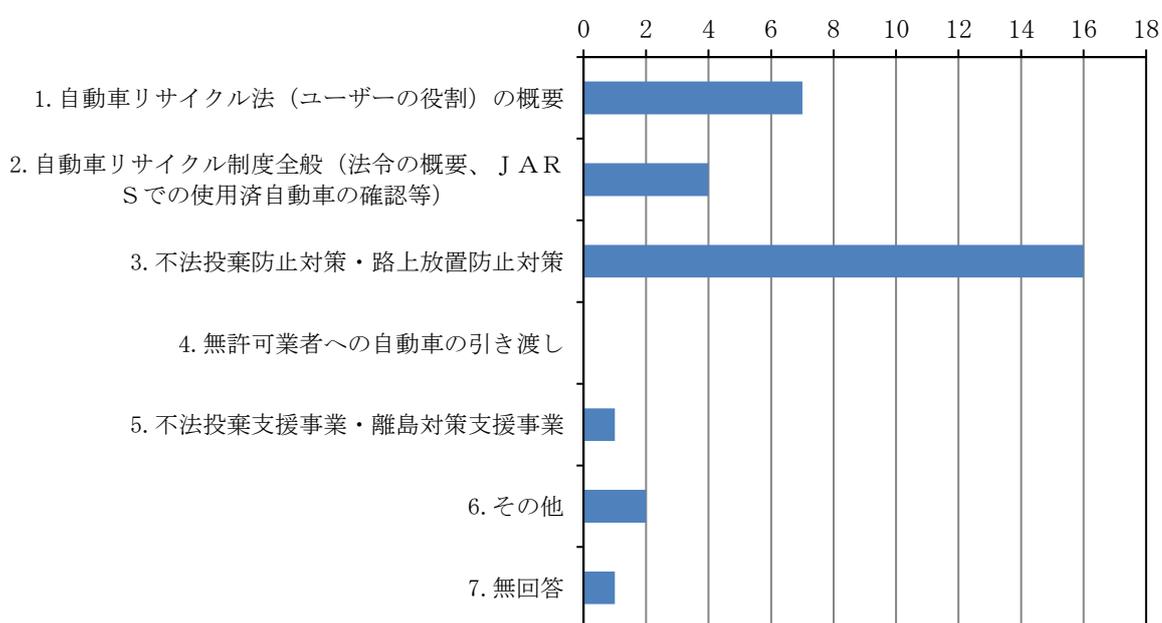
○JARSについての意見、要望（最大2つ）（n=115）

1.操作方法及び活用方法についてのQ&Aを充実してほしい	51
2.関連事業者側の画面を確認できるようにしてほしい	35
3.基本操作・具体的な事例を踏まえた活用方法についての研修会を開催してほしい	50
4.立入現場で確認のためにモバイル機器で利用できるシステムを構築してほしい	9
5.関連事業者へJARSの入力方法等の使用について指導してほしい	45
6.一つの自治体に割り当てるID・パスワードの数を増やしてほしい	5
7.無回答	1



○自動車ユーザーに対する啓発内容（最大1つ）（n=115）

1. 自動車リサイクル法（ユーザーの役割）の概要	7
2. 自動車リサイクル制度全般（法令の概要、JARSでの使用済自動車の確認等）	4
3. 不法投棄防止対策・路上放置防止対策	16
4. 無許可業者への自動車の引き渡し	0
5. 不法投棄支援事業・離島対策支援事業	1
6. その他	2
7. 無回答	1



5. JARSに関わる情報発信・共有に関する論点に対する自治体の意見等について

① 事業者情報の活用

解体業がエアバッグ類の車上作動処理を行うには、自動車製造業者等との委託契約及び国の認定を受ける必要があるが、これらを確認する手段として、JARSの事業者情報に情報を反映できないか。

JARCの対応: JARSの自治体報告徴収機能にて、車上作動処理契約を締結している事業者リストを提供することを今後予定している。

② 自治体側の作業の簡素化

エアバッグ等の引渡しに係る遅延報告について、自治体側で簡便に非表示にできないか。

JARCの対応: 関連書類の電子化及び一部省略等の改善策を本年度中に実施予定。

③ 報告徴収機能における機能の追加

自治体報告徴収機能に、引取業者が引取報告を行った車台の中から、フロン類又はエアバッグ類の装備情報を有から無に変更されたものを抽出して表示する機能をつけられないか。

JARCの対応: 全国的な自治体のニーズやシステム変更に伴う費用対効果を確認のうえ検討していく。